

平成22年5月21日

株 主 各 位

株式会社リンガーハット
代表取締役会長兼社長 米濱和英

「第46期定時株主総会招集ご通知」の一部修正について

平成22年5月10日付にて、株主の皆様にご送付申しあげました、当社第46期定時株主総会招集ご通知の事業報告中において、下記のとおり一部修正すべき記載がございましたので、ここで深くお詫び申しあげますとともに、謹んでご訂正申しあげます。

記

1. 修正箇所

企業集団の現況

(1) 当事業年度の事業の状況

①事業の経過及び成果 3ページ

2. 修正内容

修正内容は、次のとおりであります。なお修正箇所には下線を付しております。

【修正前】

以上の結果、当連結会計年度は、前連結会計年度50店舗の閉店による減収の影響が大きく、売上高は323億83百万円（前連結会計年度比29億92百万円減）となりましたが、グループ全店舗での野菜国産化実施の秋季以降、特に第4四半期の売上高が順調に推移したことに加え、全社的なコストダウンに対する取組みも奏功し、営業利益9億34百万円（同7億73百万円増）、経常利益は7億83百万円（同7億54百万円増）、当期純利益5億21百万円（同25億77百万円増、前連結会計年度は当期純損失24億34百万円）と、減収ながらも大きく増益することができました。

↓

【修正後】

以上の結果、当連結会計年度は、前連結会計年度50店舗の閉店による減収の影響が大きく、売上高は323億83百万円（前連結会計年度比29億92百万円減）となりましたが、グループ全店舗での野菜国産化実施の秋季以降、特に第4四半期の売上高が順調に推移したことに加え、全社的なコストダウンに対する取組みも奏功し、営業利益9億34百万円（同7億73百万円増）、経常利益は7億83百万円（同7億54百万円増）、当期純利益5億21百万円（同29億55百万円増、前連結会計年度は当期純損失24億34百万円）と、減収ながらも大きく増益することができました。

以 上